

後藤経済再生担当大臣の会見概要（関連部分のみ）

日時：令和5年3月31日（金） 10:25～10:45

【冒頭発言】

まずは、英国のCPTPP加入交渉の実質妥結についてでございます。CPTPPへの英国加入プロセスについては、2021年6月のプロセス開始以降、日本が議長を務める加入作業部会（AWG）のもとで、継続的に議論・検討が行われてきましたが、先程開催されたオンラインでのAWG閣僚会合を受けて、この交渉が実質的に妥結した旨の閣僚共同声明を発出いたしました。関係各国の御尽力に改めて感謝申し上げたいと思います。

詳細については声明をご覧くださいと思いますが、今回の実質的な妥結によって、英国のCPTPP加入プロセスは重要な節目を迎えました。CPTPPは、ルールの中でも市場アクセスの面でも、最も包括的かつ野心的な貿易協定の一つであります。英国の加入が実現すれば、環太平洋地域にとどまらず、自由貿易、開かれた競争的市場、ルールに基づく貿易システム、経済統合を更に促進していく上で、非常に大きな意義を有するものであると考えます。

我が国との関係では、英国から日本への輸入に関しては、現行のCPTPPを超えない範囲で妥結したところでありまして、我が国が譲歩したものは一切ありません。日本から英国への輸出に関しては、日英EPAでは得ていなかったものとして、新たに精米等の関税の撤廃を獲得をいたしました。世界的な和食ブームの中で、我が国の輸出重点品目の一つとして位置づけられていますコメなどの輸出に一層弾みがつくものと期待をしております。

今後は、早期の署名を目指して、関係各国と緊密に連携して、加入議定書の必要な作業を進めてまいります。

（以上）